

研究成果物等活用状況調査報告

■ 令和2年度 研究成果物等活用状況調査について

神奈川県立総合教育センターでは、今日的な教育課題について、学校現場で生きる実践的な調査・研究を実施しています。研究成果は研究成果物等としてまとめ、県内の学校に配付し、普及を図っています。

ここでは、県内の小・中学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校に御協力いただいて実施した、各校での活用状況についての調査結果をまとめました。今後の研究成果物等の活用につなげていただければと思います。

■ 研究成果物の活用状況

カリキュラム・マネジメントを促進する「協議の工夫」学校がひとつになって生徒が輝く



学校の取組を企画する際、SWOT分析の事例が役に立った。(中)

ファシリテーターを選出し、目的を明らかにして会議を進めることで、活発な意見交換や時間を有効に使うことにつながると感じた。(高)

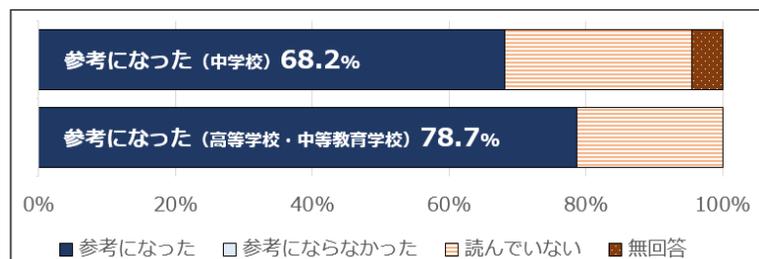
小中高 たのしく！ プログラミング教育



プログラミングソフトの特徴が端的に説明されている上、中学校、高等学校の実践例が記載されていて参考になった。(小)

2次元コードがついていて、資料とともに動画も見ることができ、参考になった。(中)

実感につなげよう！ 今、求められる授業改善 Ver.2



「実感につながる三つの視点」で何をすべきか具体的に書かれていて見通しがもてた。(小)

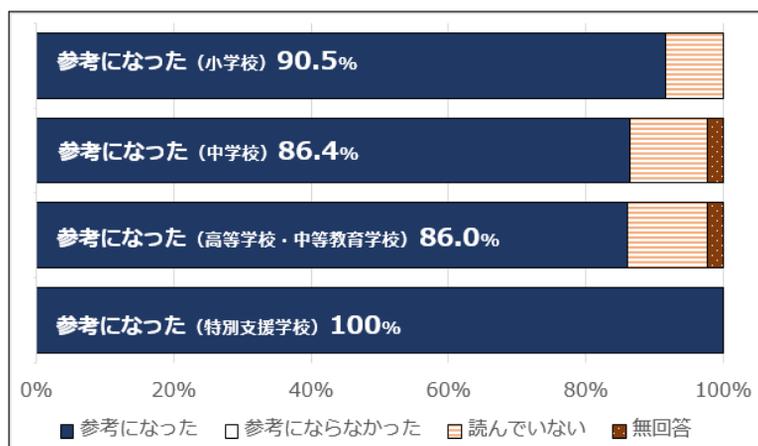
個々の授業の振り返り資料として有効に活用できた。(中)

組織的授業改善のための計画を立案・検討する際に、全体の流れを共有することに役立った。(高)

これらの研究成果物等は、総合教育センターウェブサイトのトップから、「教育研究」→「研究成果物等刊行物」へ進むと、ダウンロードが可能です！



インクルーシブな学校づくり Ver.3.0



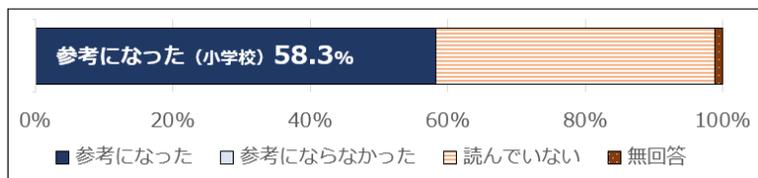
教室の環境だけでなく、授業の進め方や言葉のかけ方、地域との関わり方など多方面での取組の参考になった。(小)

インクルーシブが特別支援学級のことだけではなく、全生徒に係る課題であることが明記され、意識改革の一助となった。(中)

インクルーシブ教育実践推進校としての準備段階で職員の人権意識を高める資料として活用した。(高)

誰もが特別支援教育の視点をもって、授業づくりや日ごろの指導を考える参考になる。(特支)

自らのいのちを守るために～援助希求的態度の育成/危険予測・回避能力の育成～ (令和元年度版)



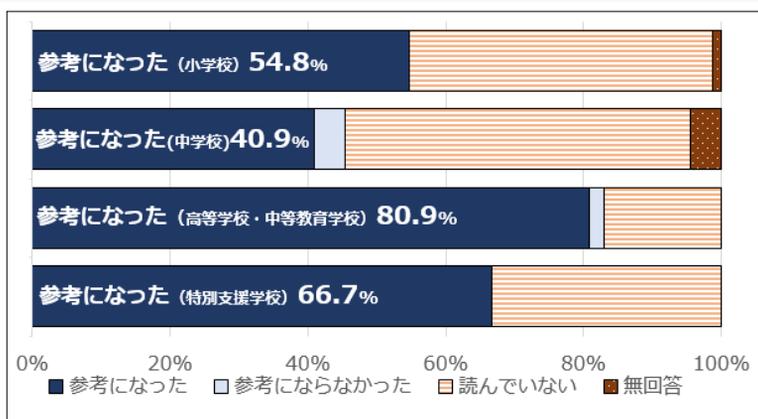
いのちを守るということを「援助希求的態度の育成」と「危険予測・回避能力の育成」の二本柱で考えることで、児童に指導しやすくなったと思う。(小)

特別支援学校における主体的・対話的で深い学びの実現に向けた【授業実践ガイド】



学習指導要領改訂のポイントを参照し、校内研究と照らし合わせる時に、主体的・対話的で深い学びについての参考としている。(特支)

令和元年度 研究集録 第39集の活用状況



校内研の授業を検討する時にとっても役に立った。(小)

学習支援グループ内や、職員会議内でいかされた。(中)

担当以外の教科における課題への理解が深まった。(高)

主体的・対話的で深い学びの実現に向け、学習において出来高表を提示したり、教室のレイアウトを工夫したりと授業におけるヒントがたくさんあった。(特支)

いただいた御意見を参考に、総合教育センターでは、今後も、授業改善、人材育成、児童・生徒理解、支援教育など、学校のニーズに合わせた研究成果の発信に努め、「かながわの学び」を支援してまいります。

